

新編水滸畫傳

九編

五

21
875
85



門遠21
875
卷85

新編水滸画傳卷之八拾五

東武 高井蘭山公翁 譯編

明治三十七年
十月十日 講求

○涌金門小張順神と傳と

混江龍李俊は宋公明の本陣小使と馳詣表白張順唯一人
敵の水門より城中小入んとやと。再三留れさせ引なく強
く別當小あり。善如はこれの次第こと告知せらる。宋江は
て東門の軍士小引と告知せし夜帳中小立と見用と守
情と善後。善小に更の善後と見と。宋江は破さし一六引九
右の人と逃げ唯神几は善後と睡りり。忽ち一
疎の吹風起りり。宋江は寝を起し燈の下と見る。一個の
人冷泉の肉小まき。破死血小深刺宋江は對して云らる。宋

新編水滸画傳卷之八拾五

竹編火舟遊覽集卷之八拾五



宋公明自ら至る
張順が天魂を
追福す

新編水滸傳卷之八拾五

勝鄧飛李忠周通おとせし山後と相せり。知小属天国に於ては
 是と知情小入ると引実と取り。先周通と付れ。李忠小刀を被
 せり。若親方とれと救くを避り。日ば。若く。款小付たりし。小幸ひ
 と申。勢と出。相物けし。日。董平は仇と報んを。只一踏
 室下小純。天小款と罵り。小実上より。石砲と放て。董平は九
 の辱と歩。れ。董平。陰とせ。よと。能。再と。び。本。殊。小。同。り。次。の
 日。又。能。出。く。仇。と。報。ん。と。款。一。れ。せ。る。唐。先。海。壁。く。割。し。と。こ。ん
 と。降。し。の。り。ざ。り。し。り。日。の。午。の。上。刻。董。平。又。張。法。と。高。嶺
 一。兩。人。情。小。殊。中。と。ま。り。出。馬。あ。り。結。ば。束。縛。し。り。實。上。小。上。り
 多。知。小。属。天。国。張。韜。と。ん。と。ん。と。兩。人。急。ぎ。実。と。り。お。探。へ。
 属。天。国。先。長。陰。と。持。く。董。平。と。歎。入。董。平。勇。と。奮。て。后。天。国
 と。提。ん。と。せ。し。る。唐。の。辱。小。恥。と。被。り。加。陰。と。せ。よ。と。自。由
 あ。り。遂。小。款。と。捨。て。退。き。知。小。属。天。国。海。と。暮。あ。り。と。進
 り。し。る。張。法。是。と。ん。と。ん。と。あ。く。も。陰。と。被。り。只。一。搦。小。と。属。天
 国。と。搦。り。り。小。天。国。系。素。眼。の。り。と。子。杖。と。老。あ。れ。ば。急。い
 小。と。提。く。こ。ん。と。避。り。し。小。張。法。が。陰。あ。り。ば。も。松。の。樹。小。搦。著
 しく。張。法。大。小。息。燦。く。搦。枝。ん。と。く。れ。せ。源。く。入。り。客。め。被
 以。属。天。国。は。役。機。小。案。り。再。び。陰。を。搦。逐。小。張。法。と。搦。伏。け。を。
 董。平。こ。ん。と。ん。と。大。小。怒。り。又。陰。を。奪。く。属。天。国。と。搦。ん。と
 可。知。小。張。韜。後。小。搦。く。唯。一。刀。小。董。平。と。切。殺。せ。り。唐。先。海
 け。本。と。せ。く。大。小。憤。り。急。小。援。兵。と。奔。り。て。款。と。付。ん。と。り。た
 ま。ひ。れ。せ。款。小。実。小。上。り。再。び。出。れ。は。夜。唐。先。海。一。の。計。と

勝鄧飛李忠周通おとせし山後と相せり。知小属天国に於ては
 是と知情小入ると引実と取り。先周通と付れ。李忠小刀を被
 せり。若親方とれと救くを避り。日ば。若く。款小付たりし。小幸ひ
 と申。勢と出。相物けし。日。董平は仇と報んを。只一踏
 室下小純。天小款と罵り。小実上より。石砲と放て。董平は九
 の辱と歩。れ。董平。陰とせ。よと。能。再と。び。本。殊。小。同。り。次。の
 日。又。能。出。く。仇。と。報。ん。と。款。一。れ。せ。る。唐。先。海。壁。く。割。し。と。こ。ん
 と。降。し。の。り。ざ。り。し。り。日。の。午。の。上。刻。董。平。又。張。法。と。高。嶺
 一。兩。人。情。小。殊。中。と。ま。り。出。馬。あ。り。結。ば。束。縛。し。り。實。上。小。上。り
 多。知。小。属。天。国。張。韜。と。ん。と。ん。と。兩。人。急。ぎ。実。と。り。お。探。へ。
 属。天。国。先。長。陰。と。持。く。董。平。と。歎。入。董。平。勇。と。奮。て。后。天。国
 と。提。ん。と。せ。し。る。唐。の。辱。小。恥。と。被。り。加。陰。と。せ。よ。と。自。由
 あ。り。遂。小。款。と。捨。て。退。き。知。小。属。天。国。海。と。暮。あ。り。と。進
 り。し。る。張。法。是。と。ん。と。ん。と。あ。く。も。陰。と。被。り。只。一。搦。小。と。属。天
 国。と。搦。り。り。小。天。国。系。素。眼。の。り。と。子。杖。と。老。あ。れ。ば。急。い
 小。と。提。く。こ。ん。と。避。り。し。小。張。法。が。陰。あ。り。ば。も。松。の。樹。小。搦。著
 しく。張。法。大。小。息。燦。く。搦。枝。ん。と。く。れ。せ。源。く。入。り。客。め。被
 以。属。天。国。は。役。機。小。案。り。再。び。陰。を。搦。逐。小。張。法。と。搦。伏。け。を。
 董。平。こ。ん。と。ん。と。大。小。怒。り。又。陰。を。奪。く。属。天。国。と。搦。ん。と
 可。知。小。張。韜。後。小。搦。く。唯。一。刀。小。董。平。と。切。殺。せ。り。唐。先。海
 け。本。と。せ。く。大。小。憤。り。急。小。援。兵。と。奔。り。て。款。と。付。ん。と。り。た
 ま。ひ。れ。せ。款。小。実。小。上。り。再。び。出。れ。は。夜。唐。先。海。一。の。計。と

生れ強新顧大嫂夫婦兩人と百姓の飛小少五を李立湯
 陰時近白務おと修小海山の小修より関小上せ火と放しめ
 りれの南兵大不驚る。故己小冥小上りしるど。あく逃し
 呼く我敵れと走りる。是少於く廣先海大軍を引く
 冥小上りより。叔彼孫新顧大嫂の昇昇と生投。李立湯
 陰の弱印と生投時近白務の衛亭と生投くが。廣先海は
 二人と張招討が中陳小引後しぬ。又量平張清。周通より飛
 と捨て。この小冥小上り。蔡り。廣僧義自。蔡と逐。廣先海
 へ程買とる。紙兵と追り。属天国小退付く。強と交へ自
 り小とり。幾十符合う。属天国と付。只張儉張鞞。她
 義の死と追。逃すぬ。定く。廣先海。近く。は。知。小。あり。た

の。し。富。に。け。時。始。く。量。平。お。が。付。き。し。る。と。皆。潜。結。し。し。く。海。と
 流。し。し。り。是。用。が。云。廣。先。海。己。小。務。利。と。ゆ。く。冥。と。蔡。お。し。し。と。
 一。刻。も。あ。く。人。を。と。修。く。夾。ぐ。南。兵。と。攻。ぶ。小。南。兵。争。り。級。ま。を。
 り。ん。や。宜。し。く。呼。延。地。が。軍。る。と。ゆ。く。救。護。と。あ。く。人。富。に。け。
 義。小。同。く。之。李。達。鮑。旭。項。元。李。家。あ。小。三。子。の。安。軍。と。あ。え。
 廣。先。海。と。連。く。し。し。李。達。大。小。收。び。即。自。率。海。と。お。出。り。り。富。に。
 又。張。明。と。蔡。人。を。湖。に。お。出。く。不。意。お。旧。人。の。故。お。の。首。と。ゆ。く。
 と。張。招。討。へ。中。を。し。し。生。投。し。サ。牙。廻。と。檻。車。小。入。く。後。し。り。張。
 招。討。廣。僧。義。を。送。り。し。二人。せ。小。一。反。小。引。出。し。そ。と。斬。し。め。り。
 ○ 張明が魂方天定張提
 ら。ふ。又。城。の。東。門。と。攻。る。大。將。朱。全。魯。智。深。お。い。み。子。の。と。引。て。

湯治の太刀より揚々、幕市門のれお切り。意ふ東つと攻え
と歎して。魯智深、嵩とせよ。拾も奈富のどく。乳く歎と罵
りし。嵩、兵を嵩とせよ。大お怒る。子速きり入る。方天定、お
初と告る。怒ふ。宝光、玉作、都え。侯、おま。けとせ。魯智
深と云。信、賢と挑と。彼、う。疾の、保杖と使、おとせ。及、う。我、彼
と、お。戦と。あ。雌、雄と。変、見と。そ。方、天、定、お。け。う。う。奏、し。け
れ、お。方、天、定、大、お。怒、び。云。我、自、う。城、樓、お。上、う。玉、作、の、戦、と。一
見、見、ん。強、勇、力、と。受、手、し。と。そ。八、人、の、猛、物、と。引、く。樓、の、上、お
登、り、う。け、時、彼、宝、光、玉、作、五、日、の、お、軍、と。率、し。と。城、お。ま。お
出、り。魯、智、深、是、と。ん。く。云、う。南、軍、の、目、も。又、信、保、杖、と
使、お。保、あり。や。任、他、三、百、杖、と。あ、ん。と。く。彼、保、杖、と。風、お。お

痛し。おらふ。宝、光、と。宝、光、と。お。ち。て。蒐、る。宝、光、も。又、保、杖、と。揮
く。お。近、く。あ、僧、互、お。武、勇、と。震、く。五、十、餘、合、戦、ひ。う。せ。猪、負
未、ど、変、せ、び。方、天、定、は、絆、と。ん。く。心、中、お。怒、る。即、ち、石、室、よ
對、して。云、う。ん。海、東、山、泊、の、死、和、尚、魯、智、深、と。云、無、僧、あり。と。せ。し
う。せ。か。く。ま。ま。ぐ。武、勇、あり。ん。と。お。思、い。ざ。り。う。う。お。豈、科、らん。や。宝、光
必、昨、の、勇、より。も。猪、猪、り。て。え。甲、乙、之、石、室、か。云、誠、お。魯、智、深、ハ、五
丈、不、過、の、勇、あり。と。お。作、く。も。笑、及、べ。知、あ。う。が。う。う。果、し。て。作
あ、う。び。と。て。保、く。是、を。威、歎、は。か。る。知、お。飛、脚、列、集、し。お。國、門
の、下、お。又、一、彪、の、兵、お。未、ま。り。と。報、し。ら。れ。ば。石、室、大、お。惱、ま。る。と
北、國、門、お。飛、脚、う。扱、束、の、軍、中、ら。ん。武、行、者、も。う。魯、智、深、が
保、も。あ、う。ん。と。お。し。忽、ち、あ、刀、を。揮、て。宝、光、お。砍、て。蒐、る。宝、光

支那小敵しぐさや思ひらん遂に後杖と抱く城中に逃る
 武の老のと慕く遊覧る如く城中に又一人の猛將実て
 出立利方天定が下の大將貝魚夢と云老く貝魚夢陰と
 抱く武の老と抱く兩人各勇と奮て十餘合戦ひし時武
 の老右の刀と奪く貝魚夢が陰の柄と砍折回す刀を以て
 も首と切りし。方天定を以て大に怖る。城の守り
 うめく再び出く戦ひを以てあはげし時未全兵を以て十里
 餘り退き居る小陣と列ひし捷軍の事と宋に河を
 せり。宋に河の関門に推業く難と挑む石室流星追と事し
 るよ業く小陣刀と接く。城に逃げ出たり。宋の軍中
 大刀突騎進を以て騎出く。城に石室と進へて二十餘合戦

ひし如く石室忽ち馬と入し城中に逃る。関務放くこれ
 と進べし馬と鞠く本陣に同じく。宋に河を以て度軍の
 河の石室と進るや。突騎進を以て石室を以て武を以て
 らに騎く小陣と同じく。逃るに必定作の計ありんと思ひ
 けし小陣と進る。突騎進を以て石室を以て流星追と後を以て
 及ぶ。彼今逃るに定らるる突騎進と歎ひし流星追と後んと
 ありしものありし必し彼と進る。宋に河を以て度軍の
 己ふくのでんべん兵と引く。宋と守んとて遂に後軍を以て
 引く。再び本陣に同じく。速使者を以て武の老が功を以て
 引く。又黒旋風車達あり。度軍を以て進へし。宋の軍中
 引く。山にありし如く。突騎進を以て集る。けし進ふ事ありし



新編水滸畫傳卷之八拾五



魚目混珠
鄧元覺
歩戰

新編水滸畫傳卷之八拾五

十

李逵快活と引く。疾く入札軍の中へ。姚義と打ちあはる。張儉張韜
 二人の身へび。岡上へ逃回ると思ひ。半途へあり。又廣徳義が
 軍馬へ引遇。大へ一陣へ破。追て。山へ入。小舟へり。逃走る。廣
 徳義人をもとを。緊しく。追蒐る。れ。西。竹馬と。緊放く。あ。竹
 林。と。り。終。一。里。竹。逃。延。り。処。竹。林。の。内。り。あ。人。の。大。竹
 躍。り。出。遂。へ。張。儉。張。韜。と。生。擒。り。り。西。竹。の。内。り。解。脱。解。室。見
 守。之。廣。徳。義。得。是。と。ん。く。大。へ。収。ひ。松。へ。李。逵。と。兵。と。合。せ。鼻
 亭。山。の。幸。陳。へ。回。り。別。家。江。へ。入。へ。戦。の。始。終。と。ゆ。り。董。平。張
 清。周。通。あ。り。討。死。と。悲。し。う。り。董。自。彼。張。儉。張。韜。と。獲。外。へ。引。せ
 張。招。討。り。本。陣。へ。送。り。即。自。これ。と。條。せ。り。董。平。あ。り。吳。用。休
 へ。り。董。平。廣。徳。義。へ。對。し。て。と。り。ん。軍。の。旗。本。の。を。引。く

徳法縣へ。引。速。く。呼。延。物。と。追。高。陳。へ。回。り。入。張。へ。計。と
 畜。儀。へ。城。と。緊。ね。げ。し。廣。徳。義。令。と。傳。へ。り。速。陳。へ。引。あ
 り。出。あ。奉。口。法。へ。引。く。同。行。方。が。級。軍。子。道。過。廣。徳。義。自
 ら。勇。と。奮。く。一。陣。と。打。あ。り。緊。く。引。と。幕。へ。追。討。し。て
 り。し。く。同。行。方。遂。へ。水。中。へ。落。し。死。ふ。り。り。董。平。の。軍。士。へ。召
 く。曰。向。八。方。へ。逃。散。し。り。け。時。呼。延。物。も。又。人。を。と。引。く。急。あ。あ
 て。出。廣。徳。義。と。急。と。一。知。小。合。せ。く。鼻。亭。山。の。幸。陳。へ。引。り。
 別。家。江。へ。入。へ。張。招。討。と。合。小。針。と。畜。儀。と。扱。張。招。討。の。取
 方。の。法。得。數。計。と。傳。へ。り。と。傳。へ。り。大。へ。収。ひ。別。時。統。制。お。と。急
 宣。州。湖。別。時。統。制。お。の。地。を。も。り。り。宋。江。へ。引。呼。延。物。が。陳。中
 と。ん。り。小。雷。横。張。英。旺。あ。り。し。く。別。呼。延。物。へ。對。し。て。け。あ。人。が

近都保に二十一人と引く抗別謀の如實門と攻宋江に己子張
 豹の身分と定め自らの右二十一人の大將と引く之れ宋江の
 勇將の鼓と響せ舞を鳴りしりなり小將を推しけ時城の大
 小將をく石室を先に出我は款見と思ふ者ありて出
 て雄雄と交せしと大音あり鳴りしり宋江も肯て大斧と
 揮く流前小將の出を止ら石室と馬と交へる十餘台戦ひる如
 小石室を先すると同し近へる常都府想く追うる軍勢は
 とくく大石室も常都軍勢と追てあれ石室作の針ありと
 あどゆりもろりなり石室ありく流星を飛せ常都が眉
 間を打着しり常都忽ち馬より下り小將よりなり都府常都
 と救人と款し馬と飛せ陰と推し飛出りる如く石室あり勇
 と在田く都府と飛ひ只一刀小都府とも飛く流し引くは
 と親方の智を振し久彼室先玉作敵人の猛將と引く城
 弁小將も出常江が陣中小將も入く救く小將も常都の大軍
 大石室も各々と常都近走る常江先く石室也常都常都
 小將と引く横合より擲く入き小都府と追退け常江と
 救ひたり石室大いの一擲と破り救ひ勇が城中小引く小
 救常江に放軍と引く阜亭山の常都小引く兵勢くして
 常都都府が討死ししと常都と想しり常都常都常都常都
 先果きと休り入城中入り常都の猛將あり只常都計と
 施し城と攻めしり常都常都常都常都常都常都常都常都
 大石室も常都常都常都常都常都常都常都常都常都常都

新編水滸書傳卷之八拾五

十四

軍に待と吐く年々西服小酒と酒どり。是角が云け度剣
 唐と矢ひく計の妙ありさる用くまはばく集が得る
 軍々法門の軍士と收め別ふ又口計と毒海せんお飲く
 宋の器とを体入と係りく并。東江の控かりお接り一列も
 小丸と散下眼と宮人と飲一。而是と嘆く。時小黒旋風
 李達漸知く云る。宋の先海心と安んぶ。人林明日龍旭頂
 元お守家おと共小兵と引く。おく土彼石室と投く。一覽
 小具め。宋江が云る。宋の先海心と安んぶ。人林明日龍旭頂
 易彼と扱んや。李達が云る。宋の先海心と安んぶ。人林明日龍旭頂
 ぐ彼と生擒。一。若我彼と生扱ずんべ。再び宋思ふ。田中。心
 心ど憂る。人とのあし。と遂ふ。こが。海。小。飯。の。彼。龍。旭。頂。元。李。達。

お三人と連く。沈り。我。宋。に。人。の。從。來。一。処。お。互。に。一。錢。い。と。な。り。
 互におゆけ。一。切。と。建。り。我。今。日。宋。の。明。の。前。に。終。言。と。
 吐。明。日。石。室。と。扱。ん。と。物。り。と。三。人。も。我。と。ゆ。け。一。か。と。
 人。龍。旭。が。我。們。に。人。の。物。中。の。後。の。明。友。だ。ん。が。を。弁。せ。か。
 と。合。て。彼。石。室。と。生。擒。く。武。名。と。遠。近。お。扱。く。也。李。達。官。一。
 扱。び。の。人。と。名。亮。の。勇。と。惜。り。り。此。の。日。李。達。未。に。人。炮。ま。と。酒。
 と。飲。ぶ。大。小。陣。お。宋。江。が。接。お。ふ。お。一。合。戦。と。一。つ。く。を。と。
 云。ら。ふ。宋。江。に。人。老。う。陣。く。る。と。い。く。を。と。安。ん。げ。ん。別。李。達。未。
 一。向。く。云。ら。る。汝。に。人。使。お。一。合。を。場。を。と。り。し。事。李。達。が。云。宋。江。
 何。ぞ。我。宋。と。憎。く。こ。る。人。や。少。別。石。室。と。扱。へ。一。帳。あ。お。引。
 じ。ぐ。一。軍。に。ぐ。云。己。お。け。の。如。く。人。が。我。救。く。一。陣。と。一。合。と。ん。と。

解珍兄弟
糧米の船
入る舟主
來歴と
とん



新編水滸畫傳卷之八拾五

軍をとりて休めり。軍に熟く思ひて抗別も難く退治なり。これ
 其江と慶くひ来れり。将佐と共し。とて是れも。結念ことん
 中者不慈。檢よたへ。因りて。多々の。信ふ合は。一七日の。信事と
 檢せり。多く討死せり。之れと。追吾に。初方天定。が。中。し。ふ。る
 と。新。の。物。を。受。く。亦。致。ち。る。人。多。く。全。報。家。貝。難。外。無。子。の。難
 結ら。軍。卒。も。ち。あ。ら。は。り。是。れ。不。信。く。抗。州。の。百。姓。を。あ。く。安。堵。の
 心。と。な。し。内。裏。と。設。く。慶。賀。せ。り。又。向。小。紫。を。懲。り。欲。計。の。初
 静。と。何。ん。と。案。江。不。静。く。き。く。今。の。方。報。の。集。兒。と。探。あ。る。こと
 此。事。も。詳。か。り。申。文。保。の。哀。信。事。同。僚。編。事。と。送。り。あ。り。し。氏。の。名。を。り

流布の通俗水滸傳は。卷の初。松。雲。の。辨。の。知。小。紫。印。ハ。林。冲。の
 結。り。と。あ。る。く。そ。の。後。小。又。案。立。揚。州。若。印。と。生。授。と。あり。林。冲。ハ。若
 印。も。負。傷。く。を。討。と。傷。り。と。受。り。又。若。印。と。書。ら。る。印。の。字
 と。之。傷。り。と。あり。又。云。抗。州。の。方。天。定。小。從。の。二。十。四。人。の。大。將。の。因
 薛。平。南。の。名。前。卷。小。初。く。出。大。尾。と。名。は。は。れ。私。軍。不。討。死。と
 小。紫。揚。州。方。と。通。は。れ。と。き。く。は。ら。る。と。て。是。れ。外。二。十。三。人。と。四。人
 の。元。脚。の。若。文。版。と。明。ら。り。や。り

新編水滸画傳卷之八拾五

